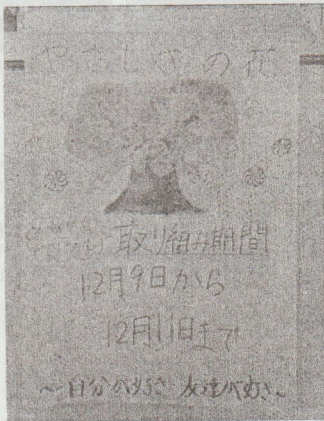




自分がすき、友達がすき



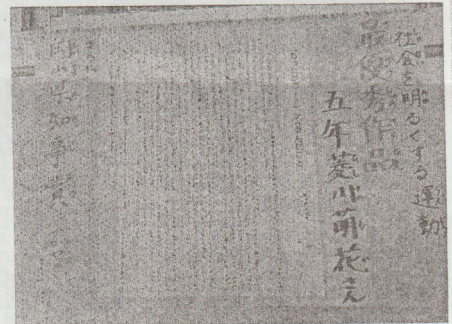
早いもので、今年もあと2週間余を残すのみとなりました。今年は世界中が新型コロナウイルスに翻弄され、学校生活にも多大な影響が出ています。そんな中でも、今学期は様々な工夫をしながら学校行事を行い、学習を進めることができました。これもひとえに保護者の皆様や地域の方々のご理解とご支援があったからこそと心より感謝しております。手洗いの徹底やマスクの着用、黙って食べる給食、友達と離れた座席など、不自由なことはたくさんありますが、子どもたちは本当によく頑張りました。その成長の様子は、先日の「学びウィーク」でご覧いただいた通りです。



掲示委員会がポスターでよびかけ

御野小学校では12/7(月)~12/15(火)を校内の人権週間と定めて、互いの人権を大切にすることについて考え、実践に移すことを呼び掛けています。人権という誰もが生まれながらにもっている権利を守るには、相手に関心を寄せ互いの良さを認め合い尊重し合うことが重要です。御野小の子どもたちは、友達の良いところを見つけるのはとても上手です。しかし、一方で自分の良さはと問われると、「ない」「わからない。」と言う子がたくさん見られます。本当の意味での人権尊重とは、自分も相手も大切にできることなのです。自尊感情を育て、自分の良さについても胸を張って言える子どもにしなければなりません。先週月曜日にテレビ放送で行われた人権集会では、子どもたちに相手の良いところだけでなく自分の良いところも見つけて大切に磨いていこうという話をしました。心の中にはみんな宝石の原石のような「良さ」を持っていて、それを見つけて磨いて大切にすることが重要なのだと。

例年行っている「やさしさの花」の取組でも、友達の良いところと自分の良いところの両方をそれぞれ色の違う花びらに書いて掲示する予定です。また、先月紹介した、周りの人に興味をもつことの大切さと地域の方との心のふれあいを書いた5年生菱川萌花さんの作文も子どもたちが読めるように掲示しました。金曜日には図書委員会が人権に関する絵本の読み聞かせをしてくれました。学校生活の様々な場面を通して、「心の宝石」を互いに磨いていく中で、「自分がすき、友達がすき」と言える御野っ子になっていってこれたらと思います。



あたたかい心のふれあいの大切さを書いた作文

委員会主催のイベント、楽しいよ!

いろいろと制約ばかりの学校生活をどうしたら楽しめるか、みんなが笑顔になれるか、各委員会が知恵をしばった楽しいイベントが次々に開催されています。掲示委員会は「クリスマスクイズ」。人気アニメ「鬼滅の刃」のキャラクターのクリスマスイラストが校内の至る所に。全部でいくつあるか数えて正解者にはイラストをプレゼント。運動委員会は「みのリンピック」。



あった!ここにも鬼滅のイラスト

10m走や開脚チャレンジ、鉄棒ぶら下がり競争など、面白い種目がたくさん。給食委員会は「豆つかみ競争」。正しくお箸を持つとたくさんつかめます。どのイベントにも子どもたちが大勢参加し、とても楽しそう。まだまだ企画は続きます。



十メートル走、スタートが勝負!



豆をそつと箸でつかんで